

職業観の形成に影響を及ぼす要因に関する研究（第1報）

Research on the Factors that Influence the Formation of Student's Vocational Values (1)

巽 公 一*

Kimikazu TATSUMI

*拓殖大学工学部

Takushoku University Faculty of Engineering

要 旨

本研究は、大学生を対象に、職業に対する考えなどについて調査し、職業観の形成に影響を及ぼす要因について検討した。その結果、以下のことが明らかになった。(1)多数の支持が得られている共通する職業観は、正規社員になり経済的安定と自立を獲得し、自分の専門性を発揮しつつ社会に貢献できる仕事をし、無事で安定した生活を送りたいという考え方であることが分かった。(2)職業観について分類したところ、個性重視群、進路模索群、地位優先群の3つの群に分けられることが分かった。(3)職業観の形成に影響を及ぼす要因として、「人からの影響」は教師及び親、「学校外での影響」は自分の趣味、インターネットの情報及び書籍、「学校での影響」は授業及び部活動からの影響がそれぞれ大きいことが分かった。(4)「人からの影響」、特に親及び教師からの影響は「個性重視群」が「地位優先群」より大きいことが分かった。

キーワード：職業観，形成要因，大学生の調査

細菌 *Chryseobacterium daecheongense* KIT-56 株による染色廃水の脱色

Decolorization of Dyes in Wastewater by a Bacterium, *Chryseobacterium Daecheongense* Strain KIT-56

井原 進一*

Shinichi IHARA

*愛媛県立新居浜工業高等学校 環境化学科

Ehime prefectural Niihama technical high school department of environmental chemistry

要 旨

本校環境化学部では、脱色研究会という産学官共同で設立された会に平成22年度から3年間参加した。本研究会は、愛媛県下の試験研究機関や地元の水処理会社、染色会社そして大学などが協力して、それぞれの得意分野で染色廃水を脱色する方法を考案し、実証実験を行い実用化させることを目的としている。日頃から部活動で微生物スクリーニングを実施している私たちは、微生物による脱色処理を担当することになった。

私たちの保有する約80株の微生物ライブラリすべてに対して染料を脱色する細菌のスクリーニングを実施した結果、染色工場で汎用されている染料20種類のうち、ほとんどのアゾ染料を活発に脱色する微生物を得ることができた。またS16リボソームRNAの相補DNAの全塩基配列が*Chryseobacterium daecheongense*のそれと99.9%の相同性があったことから本菌株のライブラリ内でのナンバーにちなみ、*Chryseobacterium daecheongense* KIT-56株と命名した。本菌株の脱色活性は、菌体と培養液が同時に存在するときのみに観察されること等がわかった。これらの実験結果より、本菌株によって脱色を進められるような廃水処理システムを考案した。

キーワード：細菌，染色廃水，脱色，廃水処理装置，環境保全，地場産業

工業高校生の学習目標志向と入学段階における意識群との関連性
Relationships between Students' Attitude Toward Learning Goal and their Consciousness
at the Time of Entrance in Technical High School

島田 和典*
Kazunori SHIMADA

*大分大学 教育福祉科学部
Faculty of Education and Welfare Science, Oita University

要旨

本研究の目的は、工業高校生の学習目標志向と入学段階における意識群との関連性を検討することである。筆者らは前報において、工業高校生 1 年生 832 名の入学段階の意識を自由記述より分析し、「卒業後進路への期待」、「専門性習得への期待(知識・技術等の習得)」等の 11 意識カテゴリを抽出した。この知見を基に、本研究では同一生徒群を対象とし、谷島・新井の開発した「学習目標志向測度」による調査を実施した。その結果、①入学段階において、前報の 11 意識カテゴリに多く該当する記述をした生徒は、該当の少なかった生徒に比べ、学習目標志向が高いことが明らかになった。②「専門教科に対する期待」や「卒業後進路への期待」の各意識カテゴリが比較的広範に学習目標志向に影響を及ぼす可能性が示唆された。これらのことから、入学後の円滑な学習活動に繋がるよう、工業高校を志望する中学生に対し、将来の見通しを持たせること、また専門教科やそれに関連する内容の興味・関心を高めておくことの重要性が示唆された。

キーワード：工業高校，生徒，学習目標志向，入学時意識

職業観の形成に影響を及ぼす要因に関する研究（第2報）

Research on the Factors that Influence the Formation of Students' Vocational Values (2)

巽 公 一*

Kimikazu TATSUMI

*拓殖大学工学部

Takushoku University Faculty of Engineering

要 旨

本研究は、大学生を対象に、各学校段階において将来なりたいと思った職業及びその際に影響を受けた出来事などについて調査し、職業観の形成に影響を及ぼす要因について検討した。その結果、職業観の形成には、小学校時代から将来なりたい職業をイメージして目標をもつこと、周囲に職業人のモデルがあり啓発を受ける機会があること、興味・関心を高める体験や学びの機会があること、興味をもったものや得意とする能力を発揮できる機会と支援があること、自分の能力が評価され自信を高める機会があることなどが必要であることが明らかになった。

キーワード：職業観，形成要因，大学生の調査

実践報告

高等学校工業科教員の資質能力の向上を目指した研修内容に関する一考察

A Study on the Training Contents for the Teachers of Technical High School
in the Teacher Training Center

今 尉*

Yasushi KON

*茨城県教育研修センター

Ibaraki Teacher Training Center

要 旨

本稿は、報告者が勤務する茨城県教育研修センターで実施している研修講座を事例に取り上げ、高等学校工業科教員の資質能力の向上を目指した研修内容に関する一考察を提示することを目的としている。採用1年目の初任者研修は、従来1年間だけであった内容を2～3年の研修期間に変更する都道府県教育委員会が全国的に増えている傾向がある。茨城県教育研修センターは、平成23年度より、これまで1年間で実施していた初任者研修を、若手教員〔初任者，2年次，3年次〕研修として再編成し3年間の研修カリキュラムへ変更した。本稿では、平成25年度に完成する研修カリキュラムを通し、茨城県教育研修センターで実施している工業科教員を対象とした研修内容を考察しまとめた。具体的には、研修体系の概要を説明したのち、若手教員研修，5年次研修，10年経験者研修，産業教育研修(工業)実施に関する目的と方法，研修の反省，さらに受講者の感想も加味して研修内容を考察することによって、教員の資質能力の向上を目指した研修内容について報告するものである。

キーワード：工業教育，教員研修，教育センター，高等学校，工業科教員